

サーキュラーエコノミーの実現に向けて

今、地球と社会に何が起こっている?

2050年

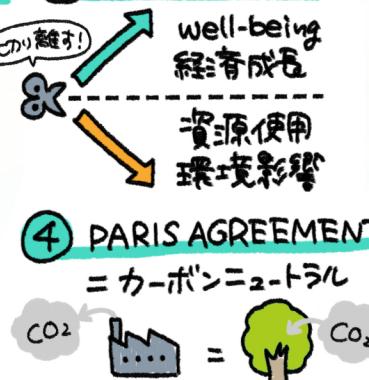


持続可能な世界実現のための
4つの持続可能性目標

① Planetary Boundaries



② DECOUPLING



③ 2030 Agenda SDGs



④ PARIS AGREEMENT



サーキュラーエコノミー・ジャパン 代表理事
中石和良

サーキュラーエコノミーとは?

リニアエコノミー → 3Rエコノミー



どうやって目標を
実現する?

3Rエコノミーの
延長、拡大ではない！

サーキュラーエコノミー

廃棄・汚染を生み出さない
経済システムの変革

2050年の割り合

サーキュラーエコノミー

3R
リニア

問題を先延ばし
してはいけない…
リニアエコノミーの
問題は解決しない

3つがバランスしながら
持続可能な社会へ

原則

① 廃棄物・汚染・無駄を生み出さない設計

→ 設計段階で
サーキュラーエコノミーモデル
になっていたこと！
サーキュラーデザインプロダクト

② 製品と原材料を使い繰り返す

→ 廃棄物を出さない！
サーキュラーデザインプロダクト

③ 自然システムを再生する

→ 「負荷を与えない」「保全する」
ざいほんする
本来の自然システムに戻す！

→ 排出される温室効果ガスの45%が
製品の製造、使用、廃棄及び食品システム
サーキュラーエコノミーは気候変動にも大きく影響

サーキュラーエコノミー・ビジネスのポイント

廃棄・ライフサイクル全体で
ビジネスモデルを構築する



リスク回避、コストダウンはもちろん、
やらない方がリスクの時代

人類が永続的に繁栄し
次世代のwell-beingを実現する
経済・社会システム変革の本筋め